学校番号	３１５

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅠ	4	第１学年	CREATIVE English Communication Ⅰ NEW EDITION 予習・授業ノート Reading Core 1 改訂版 Keys to Listening 1 必携英単語 LEAP Basic

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語を聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り）、話すこと（発表）、書くことの４技能５領域の指導を通して、英語に関する知識・技能を習得するだけでなく、英語を使った思考力・判断力・表現力や、主体的に学習に取り組む態度を一体的に育成していきます。また、様々な言語活動の中で情報を理解し伝えることや、目的や場面に応じて言語を活用することも学んでいきます。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・教材の音声を聞いて、その内容をほとんど理解し、それに関する英語の質問を聞き取ることができる。 ・ネイティブスピーカーの講師からの英語の指示を聞いて、課題に取り組むことができる。 ・英検準２級程度の英語の音声を聞き取ることができる。	・強勢や抑揚に注意しながら、聞き手に伝わるように教材を音読することができる。 ・教材を読み、その大まかな内容をつかみ、日本語で表現することができる。 ・英検準２級程度の長文を読み、その情報や考えをほぼ理解することができる。	・教材の内容に関する英語の質問に、英語で回答することができる。 ・ネイティブスピーカーの講師やクラスメートに対して、英語で質問したり、質問されたことに回答したりすることができる。	・特定の題材について、個人や集団で情報を収集・整理し、聞き手にわかるように編集するなど、発表の準備をすることができる。 ・準備したものを聞き手のことを考えて声量に注意して発表できる。 ・英検準２級程度の特定の話題について、自分の意見を英語で表現することができる。	・新たに習得した文法や表現を使い、平易な日本語を英文にすることができる。 ・英検準２級程度の題材について、読み手にわかりやすいように表現等を工夫し、自分の意見を英語で書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、言語の働きについて理解を深めており、それらの知識を目的や場面に応じて、実際のコミュニケーションや４技能の活動に適切に活かすことができている。	特定の話題について書かれた英文の概要や筆者の考えを理解したり、話される会話の内容や話し手の意図を理解したりすることができる。 場面や状況、話題に応じて、自分の意見を適切な表現を用いて伝える力が身についている。	外国語やその背景にある文化を尊重し、コミュニケーションをとる全ての相手に配慮しながら、主体的・自律的に学習しようとする態度を身に着けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
	Lesson1 The First Step Toward Your Goals Lesson 2 Where Does “Good Taste” Come From? Reading Core1 1-5 Keys to Listening1 1-4	聞くこと	a: 本課で学習する語彙や文法を理解し、英文の内容を聞き取ることができる。 b: 本文の内容（目標を達成するための取り組み・美味しさを感じる要素）を聞き、その概要をつかむことができる。 c: 本文を聞き、各パートの趣旨をつかもうとしている。	授業内テスト および定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 本課で学習する語彙や文法を理解し、英文の内容を読み取ることができる。 b: 本文の内容（目標を達成するための取り組み・美味しさを感じる要素）を読み、その概要をつかむことができる。 c: 本文を読み、各パートの趣旨をつかもうとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 本文の内容について、to 不定詞、動名詞、現在完了形、分詞の形容詞用法を用いて、自分の意見を英語で表現することができる。 b: 学習した文法事項や語彙を用いて、自分の意見を英語で表現することができる。 c: 学習した文法事項や語彙を用いて、自分の意見を英語で表現しようとしている。	授業内テスト （スピーキング）
		話すこと （やり取り）	a: 目標を達成するための取り組みと、美味しさを感じる要素について、理解した内容や実体験を踏まえてペアやグループで話し合うことができる。 b: 各パートの内容について、ペアやグループで話し合うことができる。 c: 各パートの内容について、ペアやグループで話し合おうとしている。	授業内テスト （スピーキング）
		書くこと	a: 目標を達成するための取り組みと、美味しさを感じる要素について、学習した文法や語彙を用いて英文を書くことができる。 b: 各パートの内容について、学習した文法や語彙を用いて英文を書くことができる。 c: 各パートの内容について、学習した文法や語彙を用いて英文を書こうとしている。	授業内テスト および定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 3 The Rise of the Smart Age Lesson 4 A Healthy Planet ReadingCore1 5-8 Keys to Listening1 5-8	聞くこと	a: 本課で学習する語彙や文法を理解し、英文の内容を聞き取ることができる。 b: 本文の内容（携帯電話の発展・絶滅危惧種の保護のあり方）を聞き、その概要をつかむことができる。 c: 本文を聞き、各パートの趣旨をつかもうとしている。	授業内テスト
		読むこと	a: 本課で学習する語彙や文法を理解し、英文の内容を読み取ることができる。 b: 本文の内容（携帯電話の発展・絶滅危惧種の保護のあり方）を読み、その概要をつかむことができる。 c: 本文を読み、各パートの趣旨をつかもうとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 本文の内容について、現在完了進行形・関係代名詞・助動詞+be+過去分詞・It seems that を用いて、自分の意見を英語で表現することができる。 b: 学習した文法事項や語彙を用いて、自分の意見を英語で表現することができる。 c: 学習した文法事項や語彙を用いて、自分の意見を英語で表現しようとしている。	授業内テスト （スピーキング）
		話すこと （やり取り）	a: 携帯電話の発展と、絶滅危惧種の保護のあり方について、理解した内容や実体験を踏まえてペアやグループで話し合うことができる。 b: 各パートの内容について、ペアやグループで話し合うことができる。 c: 各パートの内容について、ペアやグループで話し合おうとしている。	授業内テスト （スピーキング）
		書くこと	a: 携帯電話の発展と、絶滅危惧種の保護のあり方について、学習した文法や語彙を用いて英文を書くことができる。 b: 各パートの内容について、学習した文法や語彙を用いて英文を書くことができる。 c: 各パートの内容について、学習した文法や語彙を用いて英文を書こうとしている。	授業内テスト および定期考査 （ライティング）

	期末考査			
	Lesson 5 The Adventures of *Curious George*'s Creators Lesson 6 Art Meets Health in Hospitals Reading Core1 9-13 Keys to Listening1 9-12	聞くこと	a: 本課で学習する語彙や文法を理解し、英文の内容を聞き取ることができる。 b: 本文の内容（『おさるのジョージ』の作者の人生・ホスピタルアート）を聞き、その概要をつかむことができる。 c: 本文を聞き、各パートの趣旨をつかもうとしている。	授業内テスト および定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 本課で学習する語彙や文法を理解し、英文の内容を読み取ることができる。 b: 本文の内容（『おさるのジョージ』の作者の人生・ホスピタルアート）を読み、その概要をつかむことができる。 c: 本文を読み、各パートの趣旨をつかもうとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 本文の内容について、現在完了進行形・関係代名詞・助動詞+be+知覚動詞・使役動詞＋O＋C（＝原形不定詞）、関係代名詞 what、過去完了形、過去完了進行形、S＋V＋O（＋O）（＝疑問詞節／if[whether]節）を用いて、自分の意見を英語で表現することができる。 b: 学習した文法事項や語彙を用いて、自分の意見を英語で表現することができる。 c: 学習した文法事項や語彙を用いて、自分の意見を英語で表現しようとしている。	授業内テスト （スピーキング）
		話すこと （やり取り）	a: 『おさるのジョージ』の作者の人生と、ホスピタルアートについて、理解した内容や実体験を踏まえてペアやグループで話し合うことができる。 b: 各パートの内容について、ペアやグループで話し合うことができる。 c: 各パートの内容について、ペアやグループで話し合おうとしている。	授業内テスト （スピーキング）
		書くこと	a: 『おさるのジョージ』の作者の人生と、ホスピタルアートについて、学習した文法や語彙を用いて英文を書くことができる。 b: 各パートの内容について、学習した文法や語彙を用いて英文を書くことができる。 c: 各パートの内容について、学習した文法や語彙を用いて英文を書こうとしている。	授業内テスト および定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 7 To Stop Plastic Pollution Lesson 8 Stories to Be Passed On Reading Core1 14-18 Keys to Listening1 13-16	聞くこと	a: 本課で学習する語彙や文法を理解し、英文の内容を聞き取ることができる。 b: 本文の内容（海洋プラスチック汚染・近藤紘子さんのストーリー）を聞き、その概要をつかむことができる。 c: 本文を聞き、各パートの趣旨をつかもうとしている。	授業内テスト
		読むこと	a: 本課で学習する語彙や文法を理解し、英文の内容を読み取ることができる。 b: 本文の内容（海洋プラスチック汚染・近藤紘子さんのストーリー）を読み、その概要をつかむことができる。 c: 本文を読み、各パートの趣旨をつかもうとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 本文の内容について、S＋V＋it＋C＋to 不定詞、関係副詞、仮定法過去、仮定法過去完了を用いて、自分の意見を英語で表現することができる。 b: 学習した文法事項や語彙を用いて、自分の意見を英語で表現することができる。 c: 学習した文法事項や語彙を用いて、自分の意見を英語で表現しようとしている。	授業内テスト （スピーキング）
		話すこと （やり取り）	a: 海洋プラスチック汚染と、近藤紘子さんのストーリーについて、理解した内容や実体験を踏まえてペアやグループで話し合うことができる。 b: 各パートの内容について、ペアやグループで話し合うことができる。 c: 各パートの内容について、ペアやグループで話し合おうとしている。	授業内テスト （スピーキング）
		書くこと	a: 海洋プラスチック汚染と、近藤紘子さんのストーリーについて、学習した文法や語彙を用いて英文を書くことができる。 b: 各パートの内容について、学習した文法や語彙を用いて英文を書くことができる。 c: 各パートの内容について、学習した文法や語彙を用いて英文を書こうとしている。	授業内テスト および定期考査 （ライティング）

	期末考査			
	Lesson 9 Will Human Beings and AI Go Hand in Hand? Lesson 10 When Do We Become an Adult? Reading Core1 19-24 Keys to Listening1 17-20	聞くこと	a: 本課で学習する語彙や文法を理解し、英文の内容を聞き取ることができる。 b: 本文の内容（将来の人間とＡＩのあるべき姿・大人の定義）を聞き、その概要をつかむことができる。 c: 本文を聞き、各パートの趣旨をつかもうとしている。	授業内テスト
		読むこと	a: 本課で学習する語彙や文法を理解し、英文の内容を読み取ることができる。 b: 本文の内容（将来の人間とＡＩのあるべき姿・大人の定義）を読み、その概要をつかむことができる。 c: 本文を読み、各パートの趣旨をつかもうとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと（発表）	a: 本文の内容について、分詞構文（現在・過去分詞）、関係詞の非制限用法、さまざまな助動詞を用いて、自分の意見を英語で表現することができる。 b: 学習した文法事項や語彙を用いて、自分の意見を英語で表現することができる。 c: 学習した文法事項や語彙を用いて、自分の意見を英語で表現しようとしている。	授業内テスト （スピーキング）
		話すこと（やり取り）	a: 将来の人間とＡＩのあるべき姿と、大人の定義について、理解した内容や実体験を踏まえてペアやグループで話し合うことができる。 b: 各パートの内容について、ペアやグループで話し合うことができる。 c: 各パートの内容について、ペアやグループで話し合おうとしている。	授業内テスト （スピーキング）
		書くこと	a: 将来の人間とＡＩのあるべき姿と、大人の定義について、学習した文法や語彙を用いて英文を書くことができる。 b: 各パートの内容について、学習した文法や語彙を用いて英文を書くことができる。 c: 各パートの内容について、学習した文法や語彙を用いて英文を書こうとしている。	授業内テスト および定期考査 （ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度